



くまもとの木を学ぶ授業～5年生～

12月17日(火)5, 6校時、5年生は「森林の働きや熊本の木材を利用することの重要性を知ること」。また、「木工体験により、木の良さや木工の面白さを体感すること」を目的に、熊本県農林水産部森林局林業振興課くまもと木材利活用推進班等の5人の外部講師の方々に来校していただき、学習をすることができました。

今まで総合的な学習の時間に SDGsの学習も行ってきました。また、今回は、特に「森林」を中心に考えを深め、三学期の社会科の学習につなげていくという意図もありました。

前半はクイズを交えながらの講話があり、後半は木工体験ということで、ラックづくりをしました。最後には、くまモンの焼き印も押してもらい、完成です。少し時間はかかりましたが、5年生は大満足のようでした。

講話後に子どもたちに話を聞くと、「日本で森林がどんどん減少しているので、このままではいけないと思いました。」「森林の重要性がよくわかりました。」と話してくれました。



クイズを交えた説明を聞いている様子



ボランティアで盛り上がる！

17日(火)の朝はいつものVS活動ではなく、「赤白対決落ち葉拾い大会」でした。主催は、計画委員会、緑化委員会、環境委員会でした。今回の大会は、「宝探しゲーム」も含まれた、お楽しみボランティアでした。宝の交換券が落ち葉の中に隠されていて、それをみつけた人は、集めた落ち葉が入った袋と一緒に交換所に持って行くとプレゼントがもらえるというルールでした。どの学年も早くから登校し、一生懸命袋に落ち葉を集めては入れていました。

結果は、赤(1組)が80袋、白(2組)が78袋でした。何と、合わせて158袋も集めたのです。子どもたちのユニークな発想で、ボランティアも楽しくなりました。そして、校庭もすっきりとなりました。



VS バージョンの
わかばちゃんと
緑化マン！
作：計画委員

